

# WINTER CUP 2021

バスケットボールの第74回全国高校選手権(ウインターカップ)茨城県予選が行われ、明秀日立が土浦日大と対戦し最終クォーター残り11秒、明秀日立の原田がシュートを決め66-65で制し、2年ぶり25度目の全国大会出場を決めた。



思い返せば三年前、ずっと憧れていた明秀日立に声をかけていただき、夢と希望だけを抱え入学しました。先輩たちに連れて行ってもらったインターハイ、ウインターカップでは、観客席で応援しながら「絶対、自分の力で全国大会に出てやる」と心に秘めた瞬間を覚えています。自分の代になって迎えた新人戦。気合を入れて臨んだ大会二日目でまさかの中止。気持ちを切り替え迎えたインターハイ予選では、頼れるセンターの怪我也有り、三位で終わってしまいました。夏休みになり、同級生の主力のメンバーが受験のため数名引退してしまい、全国大会出場という目標を掲げ、仲間となり共に戦ってきた友人達の引退は、本当に悔しい気持ちでいっぱいでした。だからこそ、絶対にこの雪辱を果たしてウインターカップに出てやるという強い気持ちが湧いてきました。それからは無我夢中でした。まずは大きな声を出し、チームメイトを盛り上げ奮い立たせました。迎えたウインターカップ県予選では、序盤から接戦で苦しい試合でしたが、私は負ける気がしませんでした。決勝では、まさしくチーム一丸となって、全員がそれぞれの立場で必死になっていました。一点差で負けていた残り13秒、私は自分が決めてやるという強い気持ちで体勢を崩しながら夢中でシュートに向かいました。そして逆転し優勝。遂に、夢だったウインターカップ出場を決めました。あの日から約二年半やっと掴み取った私の高校のバスケの栄光です。

明秀日立に入って本当によかったです。筑波先生と稲葉先生にはバスケの技術面だけではなく、人間力の大切さを教えていただきました。この先の人生でも、この経験を無駄にせず、感謝の気持ちを持ち続け精進していきます。

主将 3年10組 原田 華怜